

(様式第1号)

令和6年度第2回 芦屋市文化財保護審議会 会議録

日 時	令和7年3月17日(月) 13:00~14:15
場 所	Zoomミーティングによるオンライン
出席者	会 長 戸田 清子 副 会 長 中江 研 委 員 西尾 嘉美 原口 志津子 森下 章司 【事務局】 国際文化推進室長 田嶋 修 国際文化推進課文化推進係主査 竹村 忠洋 国際文化推進課文化推進係学芸員 森山 由香里
事務局	国際文化推進課
会議の公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
傍聴者数	0 人

1 会議次第

(1) 国際文化推進室長あいさつ

(2) 審議事項

ア ヨドコウ迎賓館(国指定重要文化財旧山邑家住宅)竣工100周年記念事業について

イ 国指定史跡会下山遺跡の現状と課題について

(3) その他

2 審議経過

<中江副会長>

それでは、本日の次第に従いまして、ただ今から議事に入ります。

審議事項1について、事務局より説明をお願いします。

<事務局：森山>

資料1を用いて説明。

<中江副会長>

ただ今の事務局の説明について、何かご質問、ご意見はございませんか。

<中江副会長>

このような取り組みを通して文化財を周知することは非常に大切だと思いますが、その際、文化財名称である「旧山邑家住宅」と、施設名称である「ヨドコウ迎賓館」の名前の使用はどのようなルールに従って行っていますか。

やはり文化財であることから、文化財としての「旧山邑家住宅」は大切だと思います。

<事務局：竹村>

市民の認知度や所有者への敬意なども踏まえて、通常「ヨドコウ迎賓館」を使用していますが、中江副会長のおっしゃる通り、文化財保護の観点では「旧山邑家住宅」という名称は重要ですので、できるだけ「ヨドコウ迎賓館（旧山邑家住宅）」と表記するようにしています。

<中江副会長>

ありがとうございます。では次の議題に入りたいと思います。

審議事項2について、事務局より説明をお願いします。

<事務局：竹村>

資料2を用いて説明。

<中江副会長>

ただ今の事務局の説明について、何かご質問、ご意見はございませんか。

<森下委員>

これだけ高地性集落が実感できる形で保存されている場所は近畿地方で他にほとんどありませんので、会下山遺跡はそのような意味でも価値が高いと認識しています。学生を連れて見学に行くこともありますが、損壊が進行していることは感じていました。また、登山客が非常に多いという点も、損壊が進行している要因の一つなのかなと感じていました。

会下山遺跡の損壊状況について、現状、文化庁から指示や指導はありますか。また、今後、保存活用計画の策定に向けて取り組んでいくとのことですが、スケジュールや体制など、現状でのビジョンがあれば教えてください。

<事務局：竹村>

現在のところ、文化庁からの指示や指導はありません。

保存活用計画の策定につきましては、令和7年度に補助申請、令和8年度から2～3年かけて計画の策定をできればと考えています。計画は、委員会を設置して策定していくこととなりますので、県教育委員会の指導を受けながら進めていきたいと思ひます。

<森下委員>

ありがとうございます。史跡整備は、予算だけでなく人員の面でも大変労力のかかることかと思ひますので、組織のなかでしっかりとお話をされたほうがよいかと思ひます。

会下山遺跡は市民が守ってきた史跡ですので、整備を進めていく中で、専門家だけでなく、市民の意見も聴衆しながら進めていただければと思ひます。

<中江副会長>

ありがとうございます。他に何かご質問等、ございますか。

ないようですので、予定されていた議事は終了いたしました。委員の皆様にはご協力をいただきありがとうございます。

— 閉 会 —